

戰時佛蘭西の依頼し流用するを得るものなり更にアルプスには精銳の軍隊あり其兵二十萬を下らず亦既に徒に伊國境上に盤踞し其を要せざるものなりとす是を以てか即ち諸國を待たずアルプスに其の軍を移すは決然たる試みるべき地點なり其の何れたるを問はずに佛國軍隊の兵五十萬を加へ得たるものにして過去十年間に行はれたる軍事改革中佛國の軍事に實に得たるもの之に過ぎたるはあらざるなりと

斯くの如き事情なるを以て露國の絶東に試みる冒險は柏林の參謀部に取りて之に大喜悅を與ふるに堪へたる大青報たらざるを得ざるべし是れ即ち多年の間露國をして其軍事の注意を盡く之に傾倒せしむるに至るべきものにして爲めに非威を失墜せしめ其資源を薄弱ならしむべく獨逸に再び其多年の所願たる西歐の覇權を獨逸に得せしめんとするものなり獨逸に取ては頗る外形のなる其中立を宣言し苟も之に依りて難を得る限りは百方その手段を盡くして露國を助け露國に其強大なる計畫を鼓吹するを以て即ち其利益なりとす若し太平洋の提督伯林の之に許したる其海面より獨逸は其軍艦遂に層々に化せらるゝに至るものと

あらば是れ大西洋の提督に取りて即ち利益ならざらば是れ少くも北歐に於て獨逸の海軍は其優を得するに至るべきなり海外の所謂輿論なるものを發表する巨多の機關を獨逸は柏林より操縦して常に英國の方針を曲解するものとみ事とし露國の讀者に英國の所見を詐り之に不快の感を生ぜしめたり英國人を以て露國の非難に慘死せしめたり希冀するものなりとす又露國の人民に對して何等かの敵意を有するものなりと爲るが如く蓋し世に誤れるものあらざらん英國は露國もし日本との名譽ある其和約を締結得たる後たゞ亞細亞に於ける侵略政策を盡く放棄し露國を以て他の諸國の保全を尊重して我等の同盟國が行ひたる如く我等と協約を締結せんと欲するに於ては露國の好意を以て之を迎合二國をして親厚なる友國ならしめ以て相互の大なる利便たらしめんことを希望するものなり露國の歐洲に於て其軍事の勢力を失ひ海軍共に疲憊の狀に陥らんものとせば斷じて英國の軍事的利益にあらざる何となれば是れ西洋に於ける權力の平衡を顛覆するに至らんとするものなるを以てなり歴史の示す所に據れば若し國ありて西歐の覇權を獨逸に之を得るものとあら

ば必然の結果として我國の敵對之に次ぐ西班牙・イタリア王の歴史、ルイ十四世の歴史、ナポレオンの歴史みな何人も亦誤る能はざる教訓を我等に傳ふるものなりとす此戰爭の前後を通じて獨逸の軍事的助言は皆必す不良なりし其助言は之が印刷された紙片をだも價せず我等は戰中屢々フォン・デア・イル・伯につき聞く所あり我等は伯のローカル・アンツ・アイゲルに發表して日本の運命を豫言し大膽にも遼陽の大山は相違なく毀滅さるべしと斷じたる其所言に傾倒せざるべからざるに至らしめられたり是れ即ち我等をして斯くの如き豫言深く不安の念を動かし來たるを要せずとの警告を發せしむるに至りたるものなり此大家の言は此ダイレムに陥り如何にして其面目を全うせんとしたるや之を見る亦一興ならずとせず伯の執りたる手段は頗る簡單なり伯曰くクロバト・キンはリチ・グイツの援必す至らんものと確信せり其確信を得ざりし所以のものは全くリチ・グイツの之に至る能はざりしに歸す我等の賢明なる此助言は或は之と等しくケート・ニヒスベルの普魯士軍備・ナポレオン・ボナパルトの攻撃に對し爲めにしつゝ及びアウエルス・タット遂に

一月二十三日時事

○タイムスの日露戰爭批評 (百二十二)

獨逸と日露戰爭 (三)

失はれたりと云ふを得んか
リチ・グイツは沿州にありて自ら別箇の司令權を有するものなり其統轄區域は總督に依りて精密に圖示され鐵道水路をた盡く綿密なる區劃あり双方の間に聊も權限の争を許さず彼は滿鐵總督に關して其責任を負ふ是れ太平洋に於ける露國最後の據點なり其外に尙ほ巨多の守備地點あり皆日本の之を攻撃せんことを欲するに於ては直に陥落せんとするものなり而も其有する兵力は僅に東部西比利亞第八師團と若干の要塞軍隊及びコサック兵とに過ぎず尙ほ少數の西比利亞聯隊及びオレンブルグ・コサック師團との配下にあるが如くなり

クロバト・キンの軍に從ひたる獨逸武官過去六箇月間の事件に關し如何の言を爲さん欲するかの之を知るものと頗る興あり開戰當時に於て此從軍武官はエクレールの通信に語りて其見を傳へり其云へる所は日本軍に取て決して喜ぶべきものにはあらざりし即ち彼は日本軍を以て重観するに過ぎざると思ふに遼陽退却の悲しむべき事變の間其の將校また其所見の言を爲するの時を待たらん我等は露國に關する彼の此新觀察及び其大體露國本部の絶東部に大なる專門的利便を與へ得たるを疑ふ能はざるなり

の奇なるものにして其舞文の技又新奇且巧妙なり大體は豫言者として頗る稱するものと能はざる其眼を過ぐる事物に對しては慈愛なる判斷をたし検閲しを晦す其熱心に至りては驚くべし少時前その送りたるクロバト・キンの四十箇大隊の兵を以て大石橋より進軍し壯烈なる攻撃に依りて大嶺を回復したるとの報は露國勝利の爾餘の諸報と同一く故なく其發信を許容されたりグドクは思ふに之が勝利の報に對し其讀者の必す之を割引し得るを確信したるならん其傳へんことを欲したる要言はクロバト・キン及び其軍隊の大部大石橋にありと云ふにあり之が發信の當時にありては是れ誠に重要な報達たりしを疑はず滿洲に於ける露軍陣地の險惡なるを叙して彼の爲したる其初めに偵察するや頗る強固なり然るも露國軍隊に依りて占領さるゝに至り其たしく薄弱なるに至るとの言又一箇の重き消息たりとすべし檢閲官遂に其意を解するを能はずして之が發信を許可せり要するにグドクは其目睹する事實その傳聞する意見の忠實なる記録者として居らんことを欲するものならん彼しばし其たしく短見にして且つ誤解せるが如きありと雖も亦決して其周囲の軍隊中行はるゝ意見の矯めて反映するものにあらず

は五百哩の距離あり鐵道に依らば七百里を有すリチ・グイツに遼陽敗戦の責任を分かつしめんとするは斷じて不可なりとすべし
(十三日所論未完)

其名の傳へらるゝ人にして又恐らくば最も好く事理に通じたる人なるべし然れども大佐も亦固より其同國人の例に漏れず計算の上に於ては等しく死せる人物なり其試みたる豫測一として事實に適合したるものあるなし而も我等は尙ほグドクに對して一片敬服ならん能はず彼が露國檢閲官の目を潜る其方法は確に奇策

は必然の結果として我國の敵對之に次ぐ西班牙・イタリア王の歴史、ルイ十四世の歴史、ナポレオンの歴史みな何人も亦誤る能はざる教訓を我等に傳ふるものなりとす此戰爭の前後を通じて獨逸の軍事的助言は皆必す不良なりし其助言は之が印刷された紙片をだも價せず我等は戰中屢々フォン・デア・イル・伯につき聞く所あり我等は伯のローカル・アンツ・アイゲルに發表して日本の運命を豫言し大膽にも遼陽の大山は相違なく毀滅さるべしと斷じたる其所言に傾倒せざるべからざるに至らしめられたり是れ即ち我等をして斯くの如き豫言深く不安の念を動かし來たるを要せずとの警告を發せしむるに至りたるものなり此大家の言は此ダイレムに陥り如何にして其面目を全うせんとしたるや之を見る亦一興ならずとせず伯の執りたる手段は頗る簡單なり伯曰くクロバト・キンはリチ・グイツの援必す至らんものと確信せり其確信を得ざりし所以のものは全くリチ・グイツの之に至る能はざりしに歸す我等の賢明なる此助言は或は之と等しくケート・ニヒスベルの普魯士軍備・ナポレオン・ボナパルトの攻撃に對し爲めにしつゝ及びアウエルス・タット遂に